



《 第2回避難所生活（宿泊）体験に参加して 》

（令和元年7月26日）

僕が、この避難所生活体験学習で一番心に残ったことは、「命の大切さ」です。もちろん命の大切さはわかっていたのですが、この体験学習で、改めて命は大切なんだと感じました。炊飯のとき、1合のお米を量るのがとてもむずかしかったけど、簡単にご飯ができたので驚きました。そして、とてもおいしいご飯ができたのでうれしかったです。食器作りでは、スプーンの折り目をつけるのを失敗してしまいました。ジオラマで危険な場所を見つける学習では、電線が切れている所や地割れの場所が危ないと思いました。わずか一日の体験学習でしたが、たくさんのことを勉強することができました。命の大切さが改めてわかりました。ありがとうございました！（6年：北村 漣）

避難所にありそうな物で、いろいろな生活道具が作ることがわかりました。その中でも、ペットボトルの入っていた段ボールやビニール袋で、トイレができるなんて思いませんでした。また、段ボールとラップで食器やコップができて、その上、しっかり使えたことに驚きました。火が衣服などに付いたとき、地面に寝転ぶことも教えてもらいました。今回の体験学習に参加して覚えたことを、もしものときに生かしたいと思いました。とても貴重な体験ができました。防災課の方、ありがとうございました！（6年：酒井優斗）

災害などは、いつ起こるかわからないので、とっさにどんな判断をするかがとても重要だと思いました。ご飯を食べるときは、段ボールさえあれば、食器やコップ、スプーンなども作ることができることを知りました。また、アルミ缶を使って火を起こしてホットケーキなどをおいしく作ることができることも学びました。そして、ジオラマで作った街に危険がたくさん潜んでいること、さらには、尿などを特殊な粉で固めることがわかりました。今回の学習で学んだ知識を災害時に生かしていきたいと思います。河合則夫さん・藪田幸久さん、お忙しい中、僕たちのためにありがとうございました！（6年：手島 蓮）

私は、「避難所生活体験学習」に参加して、また今度やってみたいと思うことがたくさんありました。「あんどん」や「ハエ取り器」、「雨量計」などたくさん教えてもらいましたが、その中でも「簡易浄水器」を自分で作ってみたいと思いました。小石や砂、木炭菜などを使うので、逆に水が汚れてしまわないかと思いました。私の家では、ほとんどの材料があるので、また作ってみたいと思いました。便利な防災グッズをたくさん教えていただいたので、一つでも多く覚えて、もしも災害が起きたときに役立てるようにしたいと思います。お陰で防災への意識が高まったように思います。ありがとうございました！（6年：野村史佳）

※“天災は忘れた頃にやって来る”ものです。日頃から、心の準備をしていきたいものですね！